



TITLE:

表紙・編集後記・目次

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・編集後記・目次. 英文学評論 1976, 36

ISSUE DATE:

1976-12

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/135096>

RIGHT:

英文學評論

第 XXXVI 集

十八世紀とシェイクスピアの喜劇 小 畠 啓 邦
——女性登場人物の批評に関する覚え書——

エミリ・ブロンテの詩の世界 奥 村 透

イエイツの「悲劇のなかの喜悦」 桜 井 正 一 郎

「めりけんアレルギー」 鳴 原 真 一

伝統の新しき擁護 豊 田 昌 倫
——Margaret Drabble の文体 (1) ——

京都大学教養部英語教室

目次

十八世紀とシェイクスピアの喜劇……………	小 畠 啓 邦……………(一)
——女性登場人物の批評に関する覚え書——	
エミリ・ブロンテの詩の世界……………	奥 村 透……………(三〇)
イエイツの「悲劇のなかの喜悦」……………	桜井正一郎……………(七三)
「めりけんアレルギー」……………	嶋 原 真 一……………(一〇八)
伝統の新しい擁護……………	豊 田 昌 倫……………(一)
Margaret Drabble の文体 (1) ——	

編集後記

☆今回寄せられた論文は全部で五篇、しかもいずれもかなり長文であって、近來にない分厚いものになるだろうことを、今これを書いている時点で予想している。つづいて三カ月後には、二冊目が出る予定であるから、今年度の『評論』まずは豊年になりそうである。

☆教室にはかなり人事の異動があった。四月には岡田洋一助教授、つづいて十月には三宅卓雄助教授が、相次いで奈良女子大学へ転出され、十月からは京都教育大学より中村紘一助教授をお迎えした。またこの七月、竹森修助教授が教授に昇進された。☆六月三日、教室員共通の恩師である中西信太郎先生を突然失ったことは、まことに悲しみにたえない。御冥福をお祈りするとともに、学問的成果によって学恩に報いたい。

☆五月六日、教室談話会が開かれ、デイヴィッド・ヘイル氏の Translation of *Haiku* という談話を聞いた。

英文学評論 第三十六集

非売品

昭和五十一年十二月二十五日 印刷
昭和五十一年十二月三十日 発行

編集者 京都大学教養部英語教室

代表者 永野芳郎

印刷所 中村印刷株式会社

京都市下京区七条御所ノ内中町

発行所

京都大学教養部英語教室
京都市左京区吉田二本松町

REVIEW OF ENGLISH LITERATURE

Volume XXXVI December 1976

CONTENTS

- A Note on the Eighteenth-Century Criticism of Female
Characters in Shakespeare's Comedy.....*Hirokuni Kobatake*
- The World of Emily Brontë's Poetry.....*Tôru Okumura*
- The 'Tragic Joy' of W. B. Yeats*Shôichirô Sakurai*
- Americophobia in Japan*Shinichi Shigihara*
- Some Aspects of Style in the Works of Margaret
Drabble (1)*Masanori Toyota*
-

ENGLISH DEPARTMENT
COLLEGE OF LIBERAL ARTS
KYOTO UNIVERSITY